

## 紫式部って、どんな人？ — 日記と家集から —

千年も昔に書かれた『源氏物語』は今もなお読み継がれていて、日本のみならず世界的にも高い評価を得ています。その作者である紫式部は、一体どのような人物だったのでしょうか。紫式部の実体験に基づく『紫式部日記』と『紫式部集』から、また、同時代の女流作家との比較によって、その人物像について考えてみたいと思います。



講師 近藤 美奈子氏

現在は『新古今和歌集』の注釈書を主たる研究テーマにしていますが、大学生の頃から平安時代の文学に親しみ興味を持ってきました。サンシティホール高齢者大学講座では『伊勢物語』『竹取物語』『枕草子』『更級日記』『好色一代男』等々の作品を読んできました。今は『紫式部日記』『紫式部集』を読んでいます。古典や伝統芸能を軽視する昨今の風潮を嘆かわしく思っており、少しでも古典を愛好する同志を増やしたいと願い、昨年より二つのカルチャーセンターにも通っています。

- ★ 講師 伊丹市高齢者大学講師  
近藤 美奈子氏
- ★ 日時 令和6年10月20日(日)13:30~15:00
- ★ 場所 サンシティホール2F 講座室(1)
- ★ 対象者 中学生以上の伊丹市民
- ★ 定員 32名(申込者多数の場合は抽選)
- ★ 費用 500円
- ★ 締切日 10月10日(木)必着

※天候、その他により日程等変更になる場合があります。

申込方法 「往復はがき」又は「FAX」又は「メール」にて住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号(FAX番号)を記入し「特別文学講座」係と明記し下記までお申込み下さい。(窓口受付も可:はがき持参)(電話不可)

送付先 〒664-0023 伊丹市中野西1-148-1 サンシティホール

TEL:783-2350 FAX:785-2461

メールアドレス:sunhall@bca.bai.ne.jp